



東京電力は、福島第1原発の廃炉作業で「柔構造アーム（筋肉ロボット）」の試験的な運用を始め、3日に作業の様子を動画で報道陣に公開した。

1日に3号機タービン建屋で運用を開始した。建屋最地下階にたまる高濃度汚染水を取り除く作業の一環で、支障になるケーブルの切断などを行っている。周辺は1時間当たり最大130^{ベクレル}と高線量のため、ロボットを投入して遠隔操作で作業している。

筋肉ロボットの最大の利点

廃炉作業に筋肉ロボ

福島第1 試験運用 高線量下でも稼働

は高線量下でも稼働できること。最地下階で電子機器を動かすと故障する可能性があるが、筋肉ロボットは水圧シリンダーとバネで駆動するため壊れないという。

試験運用は12月までの予定。広報担当者は記者会見で「試験運用で得られたデータを蓄積し、今後の廃炉作業に生かしたい」と話した。

3号機タービン建屋に投入された筋肉ロボット（東京電力提供）



- ①このロボットはどこで^{はいる}廃炉作業をしていますか。
- ②廃炉作業の一環として、どのようなことを行っていますか。
- ③廃炉作業にはこのロボットのほかに、多くのロボットが携^{たす}わっています。人間の代わりにロボットが作業をすることのメリットを考えてみましょう。

問題

出題者から

廃炉作業を安全に行うためには、ロボットの力が必要です。政府や企業の研究機関の多くの方が、ロボット開発に携わっています。技術の進歩とともに、できるだけ早く廃炉作業が完^{かん}遂することを望みます。

（日本新聞協会NIEアドバイザー
・仙台市高森中教諭 木下晴子）

（中学生／朝の会前の10～15分）

10月20日こども新聞7面ワークシート解答

質問

① このロボットはどこで廃炉作業をしていますか。

福島第1原発(の3号機タービン建屋)

② 廃炉作業の一環として、どのようなことを行なっていますか。

建屋最地下階にたまる高濃度汚染水を取り除く作業

③ 廃炉作業にはこのロボットだけでなく、多くのロボットが携わっています。人間の代わりにロボットが作業をすることのメリットを考えてみましょう。

- ・被爆しない
- ・小さいロボットだと、狭い場所に入って作業ができる
- ・重い瓦礫などを取り出すことができる

など